

あんどうりすの防災四季だより
第25回 放送日：2019.9.20（金）
パーソナリティー：あんどうりす
テーマ：台風の話



「命を守る」という大切なことに役立つのは、
アウトドアのスキル。

阪神大震災を被災した「あんどうりす」さんが、
防災・減災の方法を楽しく導きます。

上陸しなくても、

台風による秋雨前線への影響で、
災害につながる事があるのです。



8月とともに、9月も
台風が発生件数が多い季節ですね。



三重県に講演に行くと
いろいろな方が「あの時はね……。」のようにお話をされます。



今でも三重県の皆さんが語り継いでいるのは、
1956年、昭和34年9月26日に発生した、
伊勢湾台風の被害の事です。(台風15号Vera)

この伊勢湾台風は、
カテゴリ-5のスーパー台風(※)と言われるもので、

暴風域が 2500km ! と、とても広がったため、
死者数が5千名を超える被害を出しました。

この被害の最大の原因は、高潮です。

特に伊勢湾周辺では記録的な高さで(3.89m)、
津波のような高潮が起こっています。



(※)国立情報研究所 デジタル台風より
<http://agora.ex.nii.ac.jp/digital-typhoon/help/unit.html>

高潮のメカニズム

台風による高潮というのは、
以下のような現象が重なって起こります。

台風の気圧が低いことにより、
海面を持ち上げる、
・吸い上げ効果というものがあります。

それから、強風による
・吹き寄せ効果。

風が2倍になると、
波の高さは2乗で高くなります。

それだけでなく、
・ウエーブセットアップ現象(※1)というものもあるのです。

さらに、
・大潮が重なることもあります。



ウエーブセットアップ現象

この言葉を聞かれたことありますか？
私は最近知りました。

台風が、
毎年多くやって来る地域に住んでいるのに、
習っていなかった事が、
けっこう衝撃でした。

外洋から来た波が浅瀬に来ると、盛り上がって
崩れます。

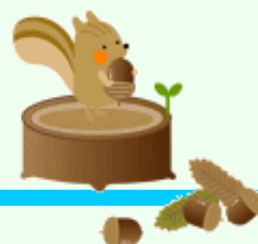
波がぐちゃぐちゃな状態になってしまうので、
岸側の海水が、沖に戻りにくくなるんです

そのまま岸に停滞するような状態になって、
高潮になる。という事なのです。



(※1)ウエーブセットアップ現象

<https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/db/tide/knowledge/tide/wavesetup.html>



東京湾で、塩田が壊滅



高潮は、
じわじわじわ〜っと波が高くなるのではなく、

急にブワッ！と高くなるのが、被害をもたらす。
という風に言われています。

家の前には海があるけれど、
堤防があるから大丈夫。と、
思っている人もいます。

「ま、東京湾だから、大丈夫だよ。」とかね。

そうおっしゃる東京の方が、とても多いのです。





番号も名前も付いていない台風で、
1917年10月1日(大正6年)に起こった台風
というのが、

実は、気象関係の人たちには、有名な台風な
んだそうです。(※2)

これも最近、知ったばかりなんです。

東京湾に高潮被害をもたらした台風で、
湾岸にあった塩田が、壊滅したと言われてい
ます。(※3)

この高潮災害は、
「大正6年の大津波」と言われています。



(※2) 国立情報学研究所 デジタル台風より
<http://agora.ex.nii.ac.jp/digital-typhoon/contribution/weather-chart/027.html.ja>

(※3) 千葉県ホームページより
https://www.pref.chiba.lg.jp/bousai/bousaishi/documents/dai2syou_3.pdf



上陸していないのに

1947年に起こった、
カスリーン台風(※4)という
有名な台風があります。



これはとっても有名な雨台風で、
ご存知の方は多いと思います。が、

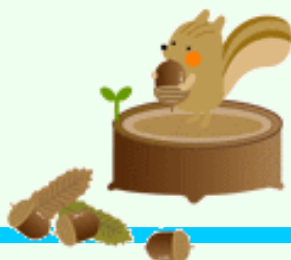
実は、
上陸していない台風なんです。

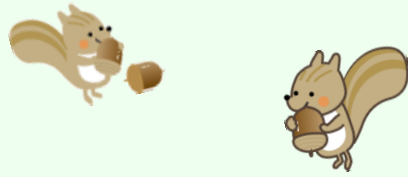
上陸してないけれども、
秋雨前線を刺激して、

荒川上流では600mm以上の降水があり、
各地に大きな被害をもたらしているんですね。



(※4)カスリーン台風70年実行委員会 特設サイトより
<http://www.unei-jimukyoku.jp/kathleen70/index.html>





この大雨で、
利根川や荒川まで決壊したのです。

同じような台風が来たら、

都心でも荒川が氾濫する。と、
今でも言われています。

台風が上陸するかどうか？ という事ばかり考
えがちです。

上陸しなくても、
台風による秋雨前線への影響で、

災害につながる事があるということは、
ぜひ覚えておいてください。



いつ避難するか！？

東京の江東5区などでは、



このような、大きな台風や洪水などが起こった場合、
ビルの3階まで水没すると言われています。

しかも水が引くまでに

2週間以上かかると予想されているので、
救助に行かれない。

という事まで言われています。





この地域は、避難するにしても
人口が多いですし、



化学物質が、流失する可能性から、
3日前から避難するように言われ、(※5)

ハザードマップでは、
ここにはだめです。と言われ……。

という事で、

「広域避難」というものが検討されています。

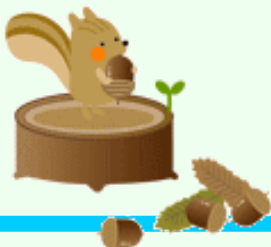
地震とは違い、
台風はいつごろ来るかが、事前に分かります。

最新の情報を聞き逃さず、
避難のタイミングを逃さないようにして下さい。

(※5)

防災四季だより 第10回参照のこと

<http://842fm.west-tokyo.co.jp/fm842/podcast/bosaishikidayori/>



ママのお天気教室

台風について、
私に詳しく教えてくださっているのが、

気象予報士で防災士でもある、
「サニーエンジェルス」代表の
山本ゆかさん(※6)です。

日本気象予報士会の
サニーエンジェルス(※7)は、

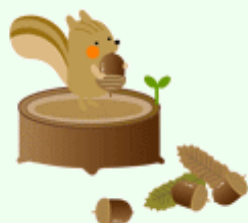
「空を見上げるお母さんを増やそう！」を
合言葉に活動する、

女性気象予報士が中心のグループです。



(※6)山本ゆかさん
<http://sunny-angels.jp/member01/>

(※7)サニーエンジェルス
<http://sunny-angels.jp/sanien/>



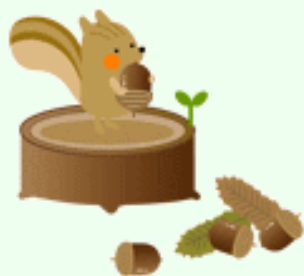


「お天気」は、とっても身近なサイエンス。
として、

親子一緒に学べるお天気教室や、
赤ちゃんを連れてのワークショップなどを
実施しています。

防災気象情報や知識を、

子どもが小さいうちから、
親子でしっかり学んでおきたいですね。



台風を学ぼう

自分のいる地域は、

予報円から外れているからもう安心。というわけでは無い。

という事なのです。

台風にまつわる基本的な知識を得る事は、

自分や大切な人の身を守る為の、
とても重要な情報源になります。

毎年台風がやって来る日本に住む限り

皆さんには、
何らかの形で学んでいただければ♡ と、
思っています。

(※) 台風進路予想の改善

https://www.jma.go.jp/jma/press/1906/12a/20190612_typhoon_yohoen.pdf



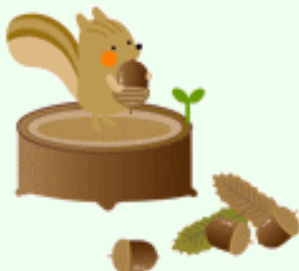


今週は、
それぞれの台風のタイプ・進路による影響や、
高潮についてお話しました。

来週は、被災地での皆さんの声や、

水害後のお掃除のこと、
感染症のリスクなどについて、

お話ししていきたいと思います。



(TEXT/はしも)